

<学校評価アンケートの結果について>

【分析の仕方】

保護者アンケート、児童アンケートともに選択肢は、「1. よくあてはまる、2. だいたいあてはまる、3. あまりあてはまらない、4. まったくあてはまらない」の4つです。

分析にあたっては、選択肢の1と2を合わせて【おおむねできている】と捉え、3と4を合わせ【評価が低い】と捉えました。以下の表の%の値は、【おおむねできている】割合です。

<児童アンケートの結果>

	質 問 文	第1回	第2回
1	学校からのいろいろな「たより」や連絡帳を、かならず家の人に 見せていますか。	84%	85%
2	授業の中で、むずかしいと感じた学習に、あきらめないでいますか。	90%	93%
3	他の人の意見を参考にしたり、自分の取り組みを振り返ったりして、より深く学ぼうとしていますか。	87%	85%
4	宿題を忘れずにとりこんでいますか。	95%	96%
5	授業の中で「もっとやってみたい」と思った学習を、家で調べたり、もう一度学習したりしていますか。	66%	63%
6	英語で、進んでコミュニケーション活動に取り組んでいる。	85%	87%
7	英語の学習は、(よく)分かりますか。	94%	92%
8	家庭で読書をしていますか。	69%	64%
9	友達や先生、家の人や近所の人などに進んであいさつをしていますか。	90%	89%
10	相手の気持ちや立場を考えた親切ない方や行動をすることができますか。	93%	94%
11	友達からいじめられたりいやなことをされたりしたことは、解決していますか。	88%	90%
12	「学校生活のやくそく」を守って生活していますか。	96%	97%
13	学校や学年で行われる行事や活動のとき、進んで行動したり、思いやりをもって行動したりしていますか。	94%	96%
14	掃除に一生懸命に取り組んでいますか。	98%	98%
15	毎朝、朝食を食べていますか。	93%	95%
16	十分に睡眠をとっていますか。	87%	93%
17	学校や家で体を動かして遊んだり運動したりしていますか。	86%	85%
18	先生方の話や避難訓練で、火事や地震、不審者が入ってきたときの避難の仕方や注意しなければならないことについて、分かっていますか。	96%	96%
19	道路を歩いたり、自転車に乗ったりしているとき交通ルールを守っていますか。	99%	97%
20	学校の行き帰りの道で、危険な目にあったり、困ったりしたときに、どう行動すればよいか分かっていますか。	94%	96%
21	日直の仕事や係、給食当番の仕事にしっかり取り組んでいますか。	98%	97%
22	将来の夢ややりたい職業などについて、考えることがありますか。	81%	82%
23	学校や学年で行われる行事や活動（朝行事や朝学習もはいります）に一生懸命に取り組んでいますか。	97%	95%
24	地域の方や、お母さん・お父さんたちが授業のお手伝いボランティア活動にきてくれていることを知っていますか。	82%	85%

<児童アンケート結果の分析>

児童アンケートは、2年生から6年生の児童を対象に行いました。児童への質問数は24項目です。下の表の数値は、「よくあてはまる」と「だいたいあてはまる」と回答した児童数の割合を表しています。この数値が90%を超えた項目数は15項目でした（2回目）。

特に良かった項目は次の通りです。

- ・「宿題を忘れずに取り組んでいる」96%（2回目）
- ・「学校生活のやくそくを守って生活している」96%（1回目）97%（2回目）
- ・「掃除に一生懸命取り組んでいる」98%（1・2回目）
- ・「避難の仕方や注意しなければならないことが分かっている」96%（1・2回目）
- ・「交通ルールを守っている」99%（1回目）97%（2回目）
- ・「日直の仕事や係、給食当番の仕事にしっかり取り組んでいる」98%（1回目）97%（2回目）

次に、80%に届かなかった項目の中でも特に低かったのは、次の項目でした。

- ・「自主学習に取り組んでいる。」66%（1回目）63%（2回目）
- ・「家庭で読書をしている。」69%（1回目）64%（2回目）

「自主学習」については、今後も「もっと頑張りたいこと」や「さらに伸ばしたいこと」など、自主的な学習につながるような授業づくりを行っていくようにします。

「家庭での読書」については、2回目は1回目と比べて低い結果でした。2学期は様々な行事が多く、家で読書するゆとりがなかったのかもしれませんが。また、読書をあまりしない・まったくしないと答えた児童が2年生は19%、3年生は37%、4年生は40%、5年生は50%、6年生は52%と学年が上がるごとに増加しています。高学年では習い事なども増えて家で読書をする時間が少なくなっていることや高学年向けの厚い本を敬遠していることなどが理由として考えられます。高学年の児童に向けて短時間でも読める本を紹介するなど、実態に応じた様々な取り組みを今後も行い、読書への関心を高めていきたいと思えます。

<保護者アンケートの結果>

	質問文	第1回	第2回
1	学校からの各種「たより」や連絡帳により、学校の活動や子どもの成長の様子が分かる。	91%	92%
2	授業参観や懇談会、PTA行事などに積極的に参加している。	92%	95%
3	学校は、お子さんのことで相談したいときに、気軽に話し合える雰囲気がある。	87%	89%
4	子どもは、宿題を忘れずに取り組んでいる。	96%	95%
5	子どもは、家庭で読書をしている。	55%	43%
6	子どもは、家庭や地域であいさつをすることができる。	83%	85%
7	子どもは、相手の立場や気持ちを考えた親切な行動がとれる。	93%	95%
8	学校はいじめが起きないように指導したり、起きたときには解消に向けて積極的に努力したりしている。	84%	87%
9	学校・学年で行われる様々な行事や体験活動、奉仕活動を通して、子どもたちに自立心や思いやりの気持ちが育っている。	94%	96%
10	子どもは、毎朝、朝食を食べている。	99%	99%
11	子どもは、十分に睡眠をとっている。	93%	93%
12	学校は、防犯訓練や避難訓練などを実施して、子どもの安全を確保することに努めている。	100%	99%
13	ご家庭では、通学路の危険箇所について子どもと話し合ったり確認し合ったりして、緊急時の対応がとれるようにしている。	84%	85%
14	子どもの将来の夢や就きたい仕事などの話題について、親子で会話をするようにしている。	78%	83%
15	学校は、教職員の一人一人が自覚と責任をもって児童の教育活動に取り組んでいる。	92%	92%
16	学校は、学校支援ボランティアを活用するなど、保護者や地域の方々と連携して教育活動を進めていると思う。	97%	96%
17	お子さんは、英語の学習に楽しんで取り組んでいる。	85%	87%

＜保護者アンケート結果の分析＞

表の数値は、「よくあてはまる」と「だいたいあてはまる」と回答した割合を表しています。今回（2回目）、この数値が90%を超えた項目数は10項目で、80%を超えた項目は6項目でした。80%に届かなかった項目数は1項目でした。

第1回のアンケートと比較して、3ポイント以上変化した項目は、4項目でした。その中で、上がった項目は、「授業参観や懇談会、PTA行事などに積極的に参加している」「学校ははじめが起きないように指導したり、起きたときには解消に向けて積極的に努力したりしている。」「子どもの将来の夢や就きたい仕事などの話題について、親子で会話をするようにしている。」の3項目でした。特に「将来の夢」に関しては、1回目と比較して5ポイント上昇しました。今後も、ご家庭で将来の夢や希望についてお子さんとお話をしていただければと思います。学校においても、一人一人の児童の夢を大切に、日々の教育活動を行ってまいります。

一方下がった項目は「子どもは、家庭で読書をしている。」の1項目でした。「家庭での読書」については、児童へのアンケート結果でも低い値でした。前回は触れましたが、高学年になるほど家庭での読書の割合が減っています。今後も図書委員会による様々な取り組みを一層活発にしていきたいと考えますが、ご家庭でも保護者の方が子どもの頃に読んで感動した本のことを話題にするなどして、読書への関心をさらに高めていただければと思います。